

# 平成 26 年度 第 2 回 学校協議会報告

【日時・場所】 平成 26 年 11 月 19 日（水）18 時～20 時 応接室

【出席者】 学校協議会委員（50 音順）

岩井 英雅（元府立学校准校長） 神戸 尚史（校医、産業医）

中澤 良太（北水会同窓会 副会長）

宮川 順那子（PTA 定時制委員会 副委員長）

准校長：中村 泰孝

事務局：溝端 茂樹（教頭）北村 陽子（首席・養護教諭）

安田 晃（教務主任）沼田 慎也（生徒指導主事）湯村 悦和（進路指導主事）

舟本 孝雄（保健主事）宮地 耕介（4 年学年主任）林 雄大（2 年学年主任）

中嶋 幹也（1 年学年主任）

## 1 開会

## 2 会長挨拶

## 3 准校長挨拶

## 4 授業見学

1 年：数学・英語、 2～4 年：（選択 B）生物

## 5 協議

### （1）本年度学校経営計画の進捗状況について

#### ○生徒指導部

- ・体育祭、明月祭とも保護者、地域からの参加者が大幅に増加。
- ・清掃ボランティア活動は、学校名の入ったブルゾンや安全ベストは広報活動にも役立ち、保護者も協力的。
- ・大阪府高等学校定時制通信制生徒秋季発表大会で知事賞など優秀な成績を多数獲得。
- ・「高校生活支援カード」の未記入の生徒については、その背景まで考慮し活用。
- ・行事では担任が、生徒に参加させるための仕掛け作るよう心掛けている。
- ・中学校訪問は昨年度に引き続き実施し、一定の成果。
- ・授業中の携帯電話使用や無気力な生徒がまだ多いが、学校全体としては落ち着く。

#### ○進路指導部

- ・卒業生の進路決定率は、少しずつ上昇し、内定者 14 名。
- ・今年度は全職員で企業訪問し、指定校求人 7 件。

#### ○教務

- ・授業規律は、従来の生徒指導の巡回当番に加え、今年度から自習当番を配置し、落ちついて学習できる環境。
- ・ICT を活用し使用する教員が増えてきており、生徒の授業満足度上昇。
- ・進級・卒業ガイダンスで時間割や単位の仕組みについて、生徒にわかりやすく工夫して伝えた。

- ・NPO法人と連携し、生徒の学習支援を実施しており約10名参加。

#### ○学校保健

- ・問診で休養が必要な生徒しか入室できないようレイアウトを変更し、不要に来室する生徒が減少。
- ・結核検診と心臓検診の未受検者が検査をするまでの期間、体育の授業や体育的な活動の参加をどうするかが検討課題。

#### ○支援教育

- ・支援学校や支援教育サポート校と連携し支援教育に役立っている。また子ども家庭センター等外部機関とも連携し様々な課題に対応。
- ・スクールカウンセラー（SC）は年間17回、スクールソーシャルワーカー（SSWe r）は年間10回招聘し、ケース会議やカウンセリングで有効活用。

#### ○各学年

- ・4年：夏期休業中に就職講座と進学講座を実施し、例年より良い結果。高校卒業程度認定試験も多数受験し、単位修得。
- ・2年：様々な課題のある生徒は、教育相談委員会、SC、SSWe rや外部機関と連携。学年目標は「安心して学べる学校にする」とし、携帯電話使用などの授業規律についても今後とも徹底して指導。

学習意欲の高い生徒に対して放課後の「NEYATEIのえんがわ」を積極的に活用。コミュニケーションの苦手な生徒に対しては、社会人体から失敗後の立ち直りの体験談を聞くことで、前向きになれるように支援。

#### ○准校長

- ・授業アンケートは昨年度と比較し、変化はなく8割は肯定的な回答。
- ・実技教科の評価は高く、知識技能が身についたものは情報が飛びぬけて高く、ICTを活用した授業に対しては評価が高い。
- ・外国人講師が週1回来校し、ティームティーチングで英語指導。
- ・「人に認められ、人と理解し合える喜びを伝える」については、大型貼り絵の「ちらしではっちゃお」を市のイベントで披露し達成感を生徒に味あわせている。
- ・学校の将来構想的を協議する校務検討委員会では、様々な場面で学校運営のポイントになるところを検討。
- ・職員研修は、年間5回、首席を中心に実施。
- ・セーフティーネットである本校も、ゴールデンウィーク明けや夏休み明けから登校できない生徒が多くなる。行事にも参加できない生徒も多い。
- ・学校からの情報発信の手段として、ホームページや保護者のあてメール登録数を増やすことも考えていかなければならない。メール登録の周知が必要。

#### ○PTA

- ・生徒を動かすには、おとなが「仕掛ける」ことが大事。子どもが心を開いてほのぼのとした感じは回を重ねるごとに感じている。
- ・授業妨害する生徒は、先生に振り向いてほしいという気持ちの現われで、授業はいやでも先生が受け止めてくれるから登校しており、先生方に感謝。

(2) 提言

- ・生徒に寄り添う先生は評価が高い。また、生徒に寄り添うことで着実にいくつか成果を上げているので今後も継続してもらいたい。
- ・生徒が注目されるということは、自尊感情を高めるうえで重要なこと。生徒が活躍する場を提供し、生徒が参加したいという行動変容に繋がられるよう、さまざまな「仕掛け」を準備してほしい。
- ・健康診断未受検者について、大阪は結核罹患率が全国でワースト1、自分自身のために受検するよう指導願う。心臓については、以前既往歴のある生徒は、必要があれば医療機関に繋ぎ、管理を願う。

次回 第3回学校協議会は2月の予定